

別 記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年4月24日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大阪府大阪市北区大深町4番20号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
参天製薬株式会社 代表取締役社長 兼 CEO

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、事業者行動計画を策定(変更)事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	参天製薬株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 伊藤 毅
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪市北区大深町4番20号

1 事業所の概要

事業所の名称	参天製薬株式会社 滋賀工場								
事業所の所在地	滋賀県犬上郡多賀町大字四手字諏訪348番地3								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	5	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 医薬品製剤製造業			
事業の概要	医薬品および医療機器の研究開発・製造・販売								
従業員の数	250 人			操業時間		7.75 時間/日			
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	6	台	熱源設備	2	台	照明設備	2200	台
	コンプレッサ	4	台	空気調和設備	43	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和3 年度	報告対象年度	令和5 年度
	終了 年度	令和5 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

参天製薬株式会社 生産本部は「参天グループ環境保全方針」に沿って、「美しい地球を次世代に引き継ぐ」ため、環境課題を常に認識し、事業活動のあらゆる面で、地域・周辺環境の保全、持続可能な資源の利用、地球温暖化防止対策の推進、生物多様性の保全に積極的に取組み、従業員参画のもと以下の事項を推進する。

1. 環境マネジメント体制の維持と継続的改善

事業活動と一体となった環境保全活動を効果的に行う為に、環境マネジメントシステムを維持し、各サイト及び、部門毎に環境影響を評価、環境目的・目標を定め、PDCAサイクルにより継続的な改善に努める。

2. 法・規制等の遵守

環境関連の法規・条例・協定及び、各サイトが同意するその他要求事項を遵守する。

3. 環境汚染の防止と環境負荷低減

①地球温暖化防止の為、エネルギー使用等に伴い発生する二酸化炭素をはじめとする地球温暖化ガスの排出量削減を目的に、積極的な設備投資・改善に努め、脱炭素社会の実現に寄与する。

②廃棄物に関する3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進すると共に、持続可能な資源の利用を行い、循環型社会の実現に寄与する。

③限りある水資源を大切に、水使用量の削減と効率的な利用を推進する。

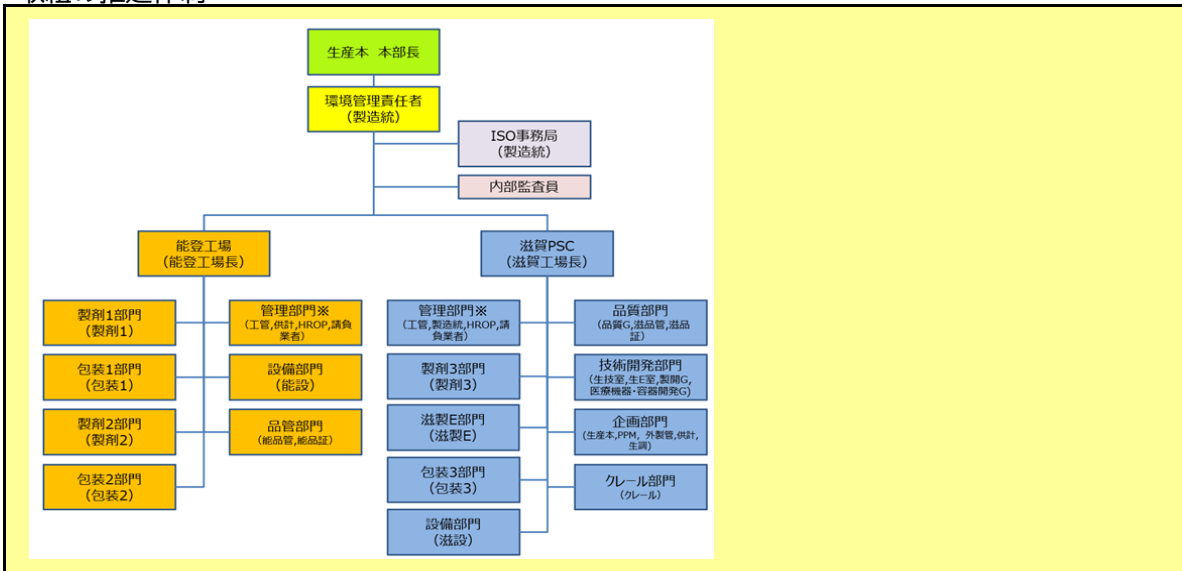
④化学物質の適正管理を推進し、環境汚染の予防に努める。

⑤生物多様性が生態系の重要基盤であることを認識し、その保全を推進する。

4. 従業員の意識向上

従業員に対し環境方針の周知、環境教育及び啓発活動を実施し、環境保全に関する意識の向上を図る。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

Santenグループは、「参天グループ環境保全指針」を制定し、グローバルに環境保全を推進しています。滋賀工場ではISO14001を認証取得し、エネルギー使用等に伴い発生する二酸化炭素をはじめとする地球温暖化ガスの排出量削減を目的に積極的な設備投資・改善に努め、低炭素社会の実現に寄与することを目的に取り組んでいます。

再生可能エネルギー由来の電気に切替

照明器具のLED化、省エネエアコンへの更新、電灯・動力トランス更新、冷凍機の電化更新

廃棄物の排出抑制、各種省エネ設備への更新、太陽光発電導入検討、クリーンルーム空調パラメータの適正化など。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	製剤第2棟NBIリア、他照明LED器具への更新(50台)	令和3年	70台
2	設備導入	製剤第2棟NBIリア、他照明LED器具への更新(200台)	令和4年	0台 (令和5年度に延期)
3	設備導入	製剤第眼軟膏・原料処理リア、他照明LED器具への更新(150台)	令和5年	262台
4	設備導入	製剤第1棟動力トランス更新(2台)	令和3年	0台
5	設備導入	製剤第1棟動力トランス更新(2台)	令和4年	3台

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
令和2年度を基準として、 原単位=(エネルギー使用量÷生産数量(万本))の毎年1%削減の達成を目指します。		原単位 令和2年度 0.5408 令和3年度 0.5309 令和4年度 0.8271 令和5年度 0.0000 【備考】 令和4年度について、新棟立ち上げに伴い、エネルギーの消費が増加したため、原単位も0.5309→0.8271へ増加。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(令和3)年度	(令和4)年度	(令和5)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	3,984	3,859	6,264	7,499		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	6,422	6,462	9,514	5,589		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	6,422	6,462	9,514	5,589		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	令和4年1月より購入電力全てを再生可能エネルギーに切り替え
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(令和3)年度	(令和4)年度	(令和5)年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	6,227	5,664	5,161	5,589		
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	6,227	5,664	5,161	5,589		
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.318	0.351	0.000	0.000		
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台						
上記のうち 次世代自動車等の 数	台						
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	環境マネジ メントシステム (EMS)	部屋未使用時の消灯率99%以上	令和3年 ～ 令和5年	計画実施中
2	環境マネジ メントシステム (EMS)	一般室の空調温度(夏季:冷房28℃以上(室温)、冬季: 暖房19℃以下(室温))順守率99%以上	令和3年 ～ 令和5年	計画実施中
3	環境マネジ メントシステム (EMS)	ノー残業dayの実施を月1回以上 (18:00帰社 空調停止、事務所消灯)	令和3年 ～ 令和5年	計画実施中
4	SDGs	会議資料などを電子化し、PPC用紙の使用量削減	令和3年 ～ 令和5年	計画実施中
5	生物多様性	電力を再生可能エネルギーに100%変換	令和5年10月	令和4年1月～切り替え